

特定非営利活動法人 国際社会人剣道九州クラブ会報



INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

2018年49号（平成30年6月）

# 剣志

KEN SHI

発行者 九州地区クラブ

会長 加野 資典

幹事長 佐藤 博喜

ホームページアドレス <http://www.npo-igkc.or.jp> eメール [nakamichi3303@outlook.jp](mailto:nakamichi3303@outlook.jp)

七月の望の宵とて 黍高し

水原 秋櫻子

風鈴の音に月明かき 夜を重ね

中村 汀女

当地区の6月例会は恒例の遠征例会です。今回は梅雨の候、紫陽花の青鮮やかな水無月に、山鹿例会（熊本県山鹿市）にて開催しました。（平成30年6月23日・土）

山鹿市は、熊本県の北部に位置する市であり、山鹿温泉、山鹿灯籠祭りで有名です。今回の例会は、池田純洋先生のお世話で開催することができました。

会場は「熊本県立鹿本高校剣道場」にて開催しました。山鹿市剣道連盟の先生方と合同稽古です。参加者は当地区会員21名、山鹿市剣道連盟の先生方21名総勢42名です。初めに加野会長よりご挨拶を頂き、続いて池田純洋先生より今回の合同稽古の内容を説明して頂き稽古会を開始しました。





当地区の会員の先生方



山鹿市剣道連盟の先生方

今回の合同稽古は最初の1時間を67歳以下と68歳以上の2パートに分かれての立会の稽古（1試合2分間）お互いに相手を変えて繰返し行いました。立会の稽古は皆さんから見られている為、多少緊張をしますが、良い稽古だったと思います。



立会の様子



会場の鹿本高等学校

## 稽古会

稽古会出席者：21名

(敬称略・順不同)

尾方 正照	緒方 仁司	池田 純洋	小島 良守		
加野 資典	佐藤 博喜	田中 義勝	大塚 勝也	秋山 勝年	
武富 直幸	廣松 守正	大隈 光夫	祐田 斉	奥村 國弘	
中原 英	西田 耕陽	小川 金吾	溝口 勝正	園田 智弘	
小島 公生	中道 政生				

### (会計報告)

収入の部		0円
支出の部	八段の先生方の交通費	31,000円
	山鹿市剣道連盟へのお礼	4,443円
	合計	35,443円

## 懇親会

「おおぜき」山鹿市宗方通101 TEL0968(44)7878 (Pm6:30~Pm9:00)

稽古会終了後「おおぜき」にて懇親会を開催しました。

8段の先生方を中心に剣道談話に花が咲きました。

参加者は上記の稽古会に参加された先生方の内17名と澤木孝明先生、直子先生ご夫妻、山鹿市剣道

連盟より副会長を始め2名の先生が参加して頂き総勢21名の参加がありました。



“どももここも剣道談話に花が咲いてます。”

※今回の「山鹿例会」は池田先生のお世話により開催できました。また山鹿剣道連盟の先生方にご多忙の中お出迎えまでした頂き誠に有難うございました。大変有意義な稽古会でした。本当に有難うございました。この場をお借りして会員一同お礼申し上げます。

## 平成30年7月例会のご案内

### 稽古会

日時：平成30年7月28日(土)

場所：久留米アリーナ 武道場・西側(3面有り) 新道場です。

時間：午後2時～6時まで予約していますが午後3時までは2面は空手が使用します。(午後3時からは2面使用可能です)

※平成30年6月に新武道場が完成しました。1階玄関より入り左側(西側)が板敷の武道場(剣道、空手、柔剣道、杖道、居合道等使用)

右側(東側)が畳敷の武道場(柔道、合気道等使用)

今回この道場での初の稽古会です。是非ご参加下さい。

※場所は元の武道場です。駐車場はありますが、隣の陸上競技場からも渡り通路で来れるようになっています。

## 平成30年8月例会のご案内

日時：平成30年8月18日(土)

場所：久留米温泉道場(湯の坂道場) ※稽古後入浴可  
久留米市野中町湯の坂1235番地 ☎0942(33)4126

時間：午後3時～4時30分

### 【連絡事項】

①年会費未納の会員の先生方は早急に振込方お願い致します。振込用紙は前回会報に同封して郵送していますが、無い方は事務局までご連絡下さい。お送りします。

②今後の稽古会は「久留米アリーナ」または「久留米温泉道場」で開催予定ですがその都度ご連絡いたしますのでご注意下さい

# 私と剣道

今回は末安 真知夫先生(教士7段・66歳)をご紹介します。  
末安先生は小学校3年生より剣道を始められています。  
末安先生は三養基高校時代に「玉竜旗剣道大会」で5人抜き  
の経験の持ち主です。  
末安先生より頂いた原稿をそのまま掲載させていただいております。



## 私と剣道

この度 突然の寄稿を依頼され戸惑っておりますが、私が剣道を始めたのは小学校3年生からでした。始めるきっかけは中原小学校に父である竹一が北茂安小学校から転勤をして、小学生の指導をしていましたので自然に入部し現在に至っています。

小学校時代は今みたいに各地区の大会が多くありませんでしたが、優勝旗が7本校長室に飾ってあるのを記憶しています。部員数が多かったために防具をつけられるのは5年生位でそれまでは唯々すり足・素振り・防具なしでの打ち込み稽古が主でした。

中学校は下積みで、高校は三養基高校に進み国士舘出身の原栄一先生からしっかりと稽古をつけていただき、唯一自慢できる戦績は玉竜旗大会において5人抜きをしたことです。

高校から農林水産省への入省が決まり、最初の赴任地は大分県国東町(現国東市国東町)にある出先機関でした。そこは若松武彦先生が指導されている安岐高校が近くにありましたので、バイクに防具を乗せて稽古に通いご指導を頂きました。

私は転勤族であったために農林水産本省をはじめ北は北海道から南は大分までの各地で勤務をし、その土地において剣友会に入り稽古を続けてきました。

父が早く他界しましたので自宅に戻り、福岡市にある農林水産省の出先に勤務をしながら、小・中学生を対象とした中原少年剣友会の指導に携わり、私の子供二人も剣道を始めるきっかけとなったと思います。その間に5段・6段・7段と昇段することができました。大学も出ていない、剣道の専門でもない私が昇段することができたのは、唯、父の教えである基本の繰り返しと途中でやめない継続心があったらだと思っています。息子・娘に3人の孫も剣道をやっていますので家族での稽古会を楽しみに今後とも子供たちに背中を見せながら稽古に精進していきたいと思っています。

農林水産省を退職と同時に国際武道、佐賀成錬会に入会せよと八郷清孝先生から入会を勧められ「ハイ」の二つ返事でお世話になっている次第です。

私の座右の銘というほどではありませんが、父から教えてもらい最初に覚えた「守・破・離」と私が今まで続けている「継続は力なり」です。

今後ともよろしくご指導のほどよろしくお願いいたします。

「守・破・離」

「継続は力なり」